

会 議 要 録

附属機関又は 会議体の名称		第30回 豊島区地域公共交通会議
事務局（担当課）		都市整備部 都市計画課（地域公共交通G）
開催日時		令和6年6月28日（金）15時00分～16時30分
開催場所		豊島区役所 8階 議員協議会室
議 題		報告案件 (1)地域公共バス「池07系統」運行支援事業の令和5年度収支率について (2)池袋副都心移動システム推進事業（IKEBUS）のダイヤ改正について (3)豊島区大塚地区におけるAI オンデマンド交通（mobi）の実証運行について
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
出席者	委 員	太田勝敏（会長）、小嶋文（副会長） 富樫秀樹、小川将和、鈴木健史、秦野凌、關田和弘、若田瑞穂、佐々木俊治、小池毅、山本昇、志村雅貴、久我恒夫、山岸啓之、塚田義信、齊木勝好、磯崎たか子、堀江咲智子、佐藤義尚、菊池信久、羽石幸一、西東俊郎、近藤正仁、田中真理子 所属団体、役職名については会議資料の豊島区地域公共交通会議委員名簿に掲載 計24名
	事 務 局	交通政策担当課長

事務局	<p>【報告案件】</p> <p>(1) 地域公共バス「池 07 系統」運行支援事業の令和 5 年度収支率について</p> <p>資料 1「地域公共バス意見 07 系統運行支援事業の令和 5 年度収支率について」で説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは何かご意見ご質問がございますか。</p>
会長	<p>無いようですので、次に報告 2 の池袋副都心移動システム推進事業、IKEBUS のダイヤ改正について事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2) 池袋副都心移動システム推進事業（IKEBUS）のダイヤ改正について</p> <p>資料 2「池袋副都心移動システム推進事業、IKEBUS のダイヤ改正について」で説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>いかがでしょうか？ダイヤ改正についてですが、暑さ対策で去年は事実上の運休をしていたが、本年度も猛暑が想定されるということでの取り組みということであります。</p> <p>何かご質問ご意見等ございますでしょうか</p> <p>特にないようですので、次の議題です。</p> <p>報告 3 ということになります令和 5 年度 AI オンデマンド交通の実証運行について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(3) 豊島区大塚地区における AI オンデマンド交通（mobi）の実証運行について</p> <p>（資料 3 説明）</p> <p>資料 3 をお取り出してください。</p> <p>「豊島区大塚地区における AI オンデマンド交通の実証運行について」でございます。</p> <p>（資料 3 説明）</p>

<p>参加事業者</p>	<p>説明は以上でございます、ここで参加事業者であります Community Mobility 社、それから運行事業者さんから一言お願いいたします。</p> <p>Community Mobility 申します。</p> <p>2 年半にわたりましていろいろご協議いただきまして誠にありがとうございます。弊社としましては、こちらの豊島区の方で実証実験によりまして、得られましたデータでありますとか、あとお客様のニーズみたいなもろもろにつきまして、今後展開していく中で大変貴重な結果を得られたというふうに考えております。</p> <p>引き続き他の地区でも展開したいと思っておりますので、大変有意義な実験結果だと認識しております。以上でございます。</p>
<p>運行事業者</p>	<p>株式会社エコリムジン東京です。</p> <p>今回 2 年半の実証実験ということで初めて参加させていただきましたが、我々の業界のこれから先を見据える中でも、21 条に則った中でのオンデマンド交通の実行運行に携われてですね、非常に有意義であったと考えております。</p> <p>あくまで実証実験ですので、どのような試みができるかというのがまず最初の入口でございます、そこからどういうことが今後できるのかなというのがその 4 条のところであったんですが、この実証実験は非常に様々な経験が得られた形になりました。</p> <p>今後、業界としてはですね、こういう様々な展開されると思いますが、その中でこちらと一緒にできるものがあれば、ありがたいなと思えました。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは只今の議題についてご質問ご意見ありましたらお願いします。詳しく分析していただいた結果、ちょっと継続は困難、そういう形になったということでした。</p> <p>私から Community Mobility 社皆さんにお聞きしたいのですが、豊島区がこれからさらに何かこういった新しい技術を使ったりして、交通のために何かこういうしっかり分析したいとか、こうした方がいいっていうところはありますか。</p> <p>はい、一般的な話になって恐縮でございますが、豊島区おけるこの地域</p>

<p>参加事業者</p>	<p> においては、日本の他の地域と比較した場合に、便利な地域であることは間違いないと思います。 ただ我々の方でもこのご利用になってらっしゃいます、(人口を見ながらですが、) 高齢者の方がいらっしゃったりですとか、あと地形的にも豊島区の方やアップダウンがある地域もございまして若干ご不便な地域であったり不便を感じてらっしゃるお客様が一定数いらっしゃるってことがよくわかってまいりました。 </p> <p> ただ我々今回やりましたエリアに関しては、若干先ほどもちょっとありましたが、エリアが結構狭く、限定的であったということもありまして、お客様の本当のニーズっていうところまでを拾い切るような実証実験というのが、なかなか難しかったと思っております。 </p> <p> 当初からこの実証運行を始めるにあたりまして、そういった意味ではお客様というか、ご利用になってらっしゃる区民の皆様方のニーズっていうことを事前にうまく把握しながら、それに対して既存の交通事業者様とのすみ分けということをしちっとできるような形で、導入にあたっての事前準備といったところが、もう少し我々の方にも、また違う結果になったのではなかったかなと思っております。 </p> <p> ただ先ほど私申し忘れてましたが、この実証実験にまではお客様としてご参加された区民の皆様方につきましては本当にいいサービスだということで大変ご利用いただきまして、我々としてはこのサービスを8月で一旦中断してしまうことにつきましては、お客様に大変ご迷惑をおかけしますことになり、つきましては大変心苦しい思いをしております。 </p> <p> ただあの後に一定のニーズがあったってということがわかったってところ弊社といいましては大変有意義だったんですが、 </p> <p> 区の皆様方にとってみればそういったニーズがあるということ、あのこういって場できちっとご議論いただいて、新しい交通サービスっていうのを改めてご議論いただければ、我々としても、この実証実験をさせていただいた中で、大変ありがたかったなというふうに考えております。以上でございます。 </p>
<p>会長</p>	<p> はい、ありがとうございました。 全国で色々な所でやられていると思います。既に実証運行から4条運行へ移ったというところもいくつかあるわけですか。 </p>

<p>参加事業者</p>	<p>はい。1ヶ所でございますが、元々我々この会社始めてまだ2年過ぎたばかりですが、実証実験は約3年お時間をかけて、ようやく1ヶ所本格運行になっています。京丹後市です。</p>
<p>会長</p> <p>参加事業者</p>	<p>過疎地とはいかないけども、需要は少ないのでしょうか。</p> <p>いや、ちょうど弊社の株主であります WILLER グループの方が京丹後鉄道っていうところも運行しておりますので、そういった意味では、京丹後鉄道と、鉄道とご利用になられるお客様との間を繋ぐ新しい交通ということでの一定のニーズがあり、かつ、日本全国同じ傾向かと思うんですが、バス路線の方が若干その廃止であったり、便数が少なくなったりっていうところに対する代替手段として、この我々の考えているこのオンデマンド交通が有効ではないかということでご議論いただきまして、そのような形で今、本格運行に移りましたと申し上げたが、地域公共交通会議にて6月の中頃に許可をいただきまして、現在申請中でございますので、そういった意味ではこれからいろいろなみな様等にご議論いただきながら、是正するときは是正しながら、本格運行に移れるための条件が整ったというふうにご説明すべきだと思います。そこは訂正させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>大変参考になる状況ですね。</p> <p>それからもう1週間何かご質問ご意見等ございました。</p> <p>私どもとしてはせっかくこういう実験をやったんです。このような形では難しいということのはっきりしたとして、そういった mobi やその他の新しい技術的な革新のポテンシャルですね。それをやっぱり生かして、公共交通をどう解決するか。これはぜひ区は新たな取り組みとしてしっかり勉強してもらえばいうことを期待したいと思います。</p> <p>よろしいですか何かご意見等ございましたら。</p> <p>特にないようでしたら、私の方は今申し上げましたけれども、2年間の実証運行ということですが、本格運行ということでは様々な課題があると、ただ、それなりの価値のあるサービスである新しい選択肢であることははっきりしているから、需要としてはそれこそ地域の大きさということで、その他の状況ですね。それから見てこの地区では不適切であることがわかった。これはやっぱり実験をしないとわからないことですよね。オンデマンド交通という一つの動きとして区全体がやはりこれからその</p>

<p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>他の地域も含めてですね、交通不便地域をどうしていくかということ、勉強していかなければいけない、ということをお願いしたいと思います。</p> <p>その他何かご質問等ございますでしょうか？</p> <p>なければ次第の4、その他について事務局よりお願いします。</p> <p>はい。その他としまして、次回の豊島区地域公共交通会議は年明けの2月以降の開催を予定し、予定しております。</p> <p>日程が決まり次第皆様にご案内いたしますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p>それではこれで会議をして閉会ということにさせていただきます。</p> <p>皆さん今日はありがとうございました。</p>
<p>提出された資料等</p>	<p>【資料】</p> <p>資料1 地域公共バス「池07系統」運行支援事業の令和5年度収支率について（報告）</p> <p>資料2 池袋副都心移動システム推進事業（IKEBUS）のダイヤ改正について（報告）</p> <p>資料3 豊島区大塚地区におけるAIオンデマンド交通（mobi）の実証運行について（報告）</p> <p>【参考資料】</p> <p>参考資料1 豊島区大塚地区におけるAIオンデマンド交通（mobi）の実証運行各指標における最終結果（令和6年3月末時点）</p> <p>参考資料2 第29回 豊島区地域公共交通会議の会議録</p> <p>【その他資料】</p> <p>・委員名簿、各種パンフレット</p>